

七尾市国民健康保険 運営協議会委員募集

委員の業務は、国民健康保険事業の重要事項などを審議し、運営の適正や健全化を図ることです。

- 被保険者代表の委員 4人
(国民健康保険の被保険者の人)
- 公益を代表する委員 4人
(学識経験者や各種団体の長、またはその団体に所属する人)
- 委員任期 6月1日～平成28年5月31日
- 募集期限 5月9日(金)
- ※履歴書を提出してください。
- 問 保険課 ☎53-8420

市民農園の利用者募集

あなた自身の手でおいしい野菜を作りませんか！

- 対象者 七尾市在住で、自分で野菜や花を栽培してみたい人
- 使用場所
 - ①多根やまびこ農園(多根町)
1区画 60㎡(約20坪)
年間使用料 6,000円
 - ②古府ふれあい農園(古府町)
1区画 32㎡(約10坪)
年間使用料 5,000円
 - ③馬場農園(田鶴浜町)
1区画 45㎡(約14坪)
年間使用料 3,000円
- 使用期間 平成27年3月31日
- 栽培禁止作物 植木、果樹
- 申込期限 4月18日(金)まで
- ※多数の場合は抽選となります。
- 問 農林課 ☎53-8422

ゆーりんピック2014 (スポーツ・文化交流大会) 出場 七尾市選手募集

- 開催日 5月17日(土)～18日(日)ほか
- 場所 金沢市、白山市ほか
- 競技 卓球、テニス、ソフトテニス、ゲートボール、ペタンク、マラソン、ボウリング、グラウンドゴルフなどスポーツ22種目 囲碁、将棋など文化5種目
- 対象者 60歳以上(昭和30年4月1日以前生まれ)
- 申込期限 4月18日(金)
- ※詳細は各競技団体または福祉課へお問い合わせください。
- 問 福祉課 ☎53-8463

募集

市営住宅入居者および 補欠者募集

■募集住宅

- ・奥原住宅
- ・馬場住宅
- ・古府住宅
- ・大津住宅
- ・古府シルバー
- ・相馬住宅
- ・後島住宅
- ・中島住宅
- ・後島シルバー
- ・要貝住宅
- ・和倉住宅
- ・館山住宅
- ・万行シルバー、障がい者向け
- ・万行住宅・代本住宅(特公賃)

■家賃など

所得に応じ9,900円～54,000円
別途駐車料金の設定有
入居時に家賃3カ月分の敷金

■申込期限 4月18日(金)

定住促進住宅入居者募集 【随時】

■募集住宅および家賃など

- 七尾定住促進住宅 35,000円
(石崎町香島)
- 田鶴浜定住促進住宅 14,000円
(舟尾町)
- 中島定住促進住宅 30,000円
(中島町浜田)
- 能登島定住促進住宅 30,000円
(能登島向田町)

※別途駐車料金の設定有

※入居時に家賃3カ月分の敷金

※詳細はお問い合わせください。

問 都市建築課 ☎53-8429

NANAO 情報通！

今月のお知らせと募集

NANAO INFORMATION

市の人口

平成26年2月28日現在
先月比較 ※外国人含む
世帯 22,145世帯(△32)
人口 56,918人(△101)
男 26,949人(△44)
女 29,969人(△57)

年齢別人口

0～20歳 9,506人
21～64歳 29,173人
65歳～ 18,239人
転入 56人 転出 119人
出生 27人 死亡 65人
婚姻 11件 その他 0人

納税のお知らせ

固定資産税・都市計画税(1期)
※納期限：4月30日(水)

今月の「税情報ななオ」

今月はお休みです。

愛の献血

■日時 4月7日(月)
9:45～12:00
13:00～16:00
■場所 七尾市役所

献血の詳しい情報は

石川県赤十字血液センター 検索



里山里海暮らしに光をあてたい

地域おこし協力隊 外山 泰典さん

「地域おこし協力隊」として、南大吞地区の活性化に取り組むため、昨年7月、家族3人で山崎町へ移住してきた外山泰典さん。東京出身でスポーツジムのインストラクターや呉服店の営業などを経験し、その後、虹ちゃん(長女)の出生を機に、咲子さん(妻)の実家が近い大阪府豊中市で生活していた。

七尾との縁

子どもを自然豊かな場所で育てたいと思っていた外山さん夫婦。

移住先について地図を広げて話していた時、虹ちゃんが指差したのが、七尾だったという。咲子さんの友達が七尾に住んでいたで連絡をしたところ、紹介してもらったのが地域おこし協力隊の仕事だった。

地元の人に里山暮らしを教わりながら自然の中で子育てをする。七尾でその希望を叶えようと地域おこし協力隊になった。

まずは南大吞の人間になる

今は、南大吞地区の地域活性化につながる具体的な活動に向けて、地元を知ることから始めている。山崎町の田んぼや畑を手伝ったり、漁港へ行き、どんな魚が獲れるのかを勉強したりしている。「南大吞の人間になれるよう教わっているところです。地域の人はやさしくて、とても感謝しています」と話す。また南大吞地区以外にも、七尾のことを知ろうと、

さまざまな場所へ顔を出している。「都会から来たからこそ、見える風景や感じるものがたくさんあるの、それを見つめるのが、地域おこし協力隊の役割だと思っています」。

今後の想い

「田舎暮らしを体験したいという都会の人はたくさんいる。そして南大吞地区は、海も山も川もあつて、素材がたくさんある。例えば、アユ獲り体験や山菜採りなど、体験型のイベントや旅行などを企画し、人を呼び込みたい」と意気込む。また、現在「里山里海マイスター」養成プログラムを受講し、いろいろなことを学んでいる。

「南大吞地区の里山里海暮らしに、光を当てる仕事をしたい」と話す外山さん。都会で育った経験を生かし、南大吞地区に新しい風を吹き込み、地域活性化や、外山さんのように移住してくる人が増えることを期待したい。

市民の皆さんへ

「子どもも伸び伸び育ち、七尾へ来て良かったと妻と話しています。いろいろな場所へ出かけてたくさん人の話を聞きたいと思っていますので、どうぞよろしく願います」

「地域おこし協力隊」とは…

都会に住む人が、人口減少や高齢化が著しい地方に移り住み、地域活性化に取り組むことを目的とする国の制度。